



# 碧南市次世代育成拠点施設配置計画

碧 南 市

平成 19 年3月

# 目 次

I. 計画のめざすもの	1
II. 碧南市における子育て支援の状況	2
(1) 基礎的条件	2
(2) 幼稚園・学校の概況	9
(3) 子育て支援策	10
(4) 子どもの居場所（児童厚生施設等）の状況	13
(5) 子育て・子育てを支える地域の力	17
III. 今後の重点課題	18
(1) 今後の少子化対策・子育て支援対策の方向	18
(2) 碧南市におけるこれからの重点課題の整理	26
IV. 碧南市の地域力の分析	29
(1) 地域力を活かした子育て支援機能の確保にむけて	29
(2) 地域力アンケートの実施	31
(3) 碧南市の地域力の現状	38
V. 碧南市の今後の子育て拠点施設のあり方	39
(1) 地域力を活かした事業の展開	39
(2) 子育て拠点施設に必要な機能	41
(3) 子育て拠点施設の確保策	44
(4) 次世代育成交流館（仮称）建設基本構想（案）	47

## 参 考 資 料

## I . 計画のめざすもの

少子化・核家族化の進行、地域・家庭での子育て機能の低下、女性の社会進出など、子どもや家庭を取巻く環境が大きく変化しているなか、安心して子育て・子育てができる環境を整備することがより一層求められてきています。

碧南市においては、少子化対策のより一層の推進を図るため、平成17年3月に『碧南市次世代育成支援地域行動計画（へきなん 次世代 ハートプラン）』（以下「ハートプラン」という。）を策定し、基本理念を「心を包み心を育むまち へきなん」として、「子どもの心」「親の心」「家庭の心」「地域の心」の4つの心（ハート）をやさしく包み込み、「子育て、子育て、親育ち」を応援し、支えることをめざしています。

そして、1「健やかっこ」、2「育ちっこ」、3「輝きっこ」、4「やすらぎっこ」の4つの基本目標のもと、114の具体的な事業の推進に取り組んでいるところです。

一方、国では次世代育成支援対策推進法（「ハートプラン」の計画策定根拠法令）制定後も少子化に歯止めがかからないことから、平成18年6月の少子化社会対策会議において、少子化対策の抜本的な拡充、強化、転換を図るため、「新しい少子化対策」が決定されました。

この新しい少子化対策では、これまでの仕事と家庭の両立を中心とした子育て支援を見直し、特に、家族・地域の絆の再生や社会全体の意識改革を図るための国民運動の推進を強調していること、親が働いているいないに関わらず、すべての子育て家庭を支援することが重視されています。そして、福祉・教育・雇用などすべての分野が連携して、強力に少子化対策を推進することが方向づけられました。

「地域の絆」は、子育て支援のみならず、地震など、いざという時の助け合いにも役立つと期待されています。そこで、碧南市においても、ハートプランにより、これまで取り組んできた施策・事業をみつめなおし、「家族・地域の絆の再生」を今後の子育て支援の重要課題として取り組むことが必要となってきました。

ハートプランでは、「やすらぎっこ」において、「親子が集える場の拡充」として、中学校区ごとに子育て支援施設の設置を計画しています。この子育て支援施設には、単に次世代育成の拠点、子どもの居場所の確保というだけでなく、地域が関わる子育て、親育ちを応援する取組みという視点が重要です。

そこで、碧南市の子育て支援における「地域の力」の現状を把握、分析し、これからの子育て支援施設のビジョンとして碧南市次世代育成拠点施設配置計画を策定しました。